

# 平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月10日

課・グループ名	保健福祉課健康子育てグループ 保健福祉課高齢者包括グループ
---------	----------------------------------

<b>施策名</b>	①-d高齢者等の生活支援の充実（保健医療福祉の充実） 4-3-①-d
------------	------------------------------------

## 1. 施策の現状分析及び展開方向

政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(3) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり	①-d 高齢者等の生活支援の充実（保健医療福祉の充実）
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実務者レベルの定期的な会議を継続するほか、随時、連携を図り必要なサービスが切れ目なく提供できるよう努めます。</li> <li>●南幌町地域保健医療福祉総合対策協議会を中心に高齢者や子ども、障がい者等の生活を多角的な視点から総合的に支援します。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	<p style="text-align: center;">現 状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化の進展により、虚弱や認知症などによる支援の必要な高齢者が増加しています。</li> <li>●町民が安心して生活できるよう、保健・医療・福祉・教育の関係機関との連携のもと活動しています。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後の高齢化の進展に伴い、医療や介護を必要とする状態になっても、高齢者が住み慣れた地域で、必要なサービスを切れ目なく提供することが求められています。</li> <li>●社会保障制度の変化や多様なニーズに的確に対応することが求められています。</li> <li>●高齢者に限らず子どもや障がい者等が安心して生活できるよう保健、医療、福祉、教育が連携し、総合的に支援することが求められています。</li> </ul>	

## 2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図	まちづくりの成果指標名	数値化	
		成果指標（総合計画・施策評価）		可 能
			○	不 可 能
				未計測
		代替指標 ※成果指標がない場合		指標の設定
	※特定のデータ化が困難であるため指標なし		可 能	
			○	不 可 能

② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度 H28	目標年度 H28	達成率増減の理由
		H25	H26	H27			
目 標							
実 績							
達成率	%						

評価視点	評価結果	理由、課題・問題点
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移（目標達成は十分に可能である）	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護や医療に関する多職種が参集する定期的な会議を継続的に実施している。また、必要なサービスを切れ目なく提供するために、随時連携を図っている。</li> <li>・高齢者や子ども、障がい者等の生活を総合的に支援するために保健・医療・福祉・教育関係者が様々な会議で検討したり、連携を図っていく体制がとれている。</li> </ul>
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移（目標達成は可能である）	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）	
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている（目標達成は難しい）	

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業 番号	事務事業名	種 類	所 管 課 名	成 果 指 標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必 要 性	妥 当 性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目 標	単 位						H28実績	H29予算
1	保健福祉対策事業	(1)	保健福祉課	①南幌町保健福祉医療サービス調整推進会議への参加者数	①140	人	①南幌町保健・福祉・医療サービス調整推進会議の開催 ②南幌町地域保健医療福祉総合対策協議会の開催(平成26年度より南幌町地域保健医療福祉連携推進会議に変更)	I	I	1 現状のまま継続	0	高い	
				②南幌町地域保健医療福祉総合対策協議会への参加者数(平成26年度より南幌町地域保健医療福祉連携推進会議に変更)	②30						0		
2													
3													
4													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H28事業費	0
H29予算	0

②H29に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス調整推進会議は、高齢者の生活を総合的に支えていくために、定例で実施し多職種間で情報交換を実施することで連携を深めている。</li> <li>地域保健医療福祉総合対策協議会は、保健、医療、福祉、教育などの町の主要な職の方が参集する会議で、毎年共通するテーマの情報交換や各種計画の理解を得る機会となっている。</li> </ul>
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)																													
①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。																												
事業の方向性	事業番号																												
優先度 A~D (ランク)	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成29年度以降の予算の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ 維持</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>縮小</td> </tr> </table>	A						平成29年度以降の予算の方向性	B	1					拡大	C						○ 維持	D						縮小
A						平成29年度以降の予算の方向性																							
B	1					拡大																							
C						○ 維持																							
D						縮小																							